

## シリア：北部で MSF の支援病院に爆撃——少なくとも 7 人死亡、8 人行方不明

シリア北部のイドリブ県で現地時間 2 月 15 日午前、国境なき医師団 (MSF) が支援する病院が爆撃に遭い、少なくとも 7 人の命が奪われた。現時点で確認できている死亡者は、患者 5 人、付添人 1 人、病院の警備員 1 人。さらに、少なくともスタッフ 8 人が行方不明者だが、おそらく亡くなっているとみられる。その他、行方不明の患者がいるが、正確な人数はわかっていない。病院は同県マアラト・ヌマンにあり、スタッフによると、2 回に及ぶ数分間の攻撃で 4 基のミサイルが着弾したという。

### 周辺に暮らす 4 万人に影響

この爆撃では、MSF の支援先でない病院を含め、周辺の人口密集地でさらに 15 軒の家屋および建物が被害を受けている。MSF 活動責任者のマッシミリアーノ・レバウデンゴは「今回の爆撃は、医療施設を意図的に狙ったように思われます。病院が破壊されたことにより、紛争の激しい地域で暮らす約 4 万人の人びとが医療を受けられなくなっています」と憤る。

マアラト・ヌマンの病院はスタッフ 54 人が勤務し、ベッド 30 床、手術室 2 室に外来科と救急処置室を備えていた。毎月約 1500 人の外来患者を治療したほか、救急診療を平均 1100 件、整形・一般外科が中心の手術も約 140 件行っていた。

MSF は 2015 年 9 月からこの病院を支援しており、医療物資や運営資金の提供など、あらゆるニーズに応じてきた。3 回の攻撃被害を受け、2015 年 12 月にやむなく所在地を移した際の再建にも協力している。

### 病院への攻撃、アレッポ県でも

15 日午前、マアラト・ヌマンから 100km 先のアレッポ県アザーズ周辺でも戦闘が激化し、いずれも MSF の支援先ではないが 2 か所の病院が被害を受けたと報告されている。アザーズにある MSF のサラマー病院はこれまでに戦闘の負傷者 10 人を受け入れ、市内の母子保健病院が爆撃に遭ったため、サラマー病院に小児外科の救急患者を引き継いでいる。

以上

---

#### 本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平／趙 潤華

TEL：03-5286-6141／6153 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org) <http://www.msf.or.jp>

メディア向けツイッターアカウント開設しました。  @MSFJ\_Press